

2023 年春学期/ユタ大学 帰国生アンケート

※注意※ ここで記載されているアンケート回答は**全て個人の主観によるもの**であり、あくまで『参考情報』としてみなさんに開示しています。**正しい情報とは限りません**ので、その点について了承した上で留学準備に活用してください。

1. 授業について

授業の形態や進め方はどんなものでしたか。

70分授業×4教科。文法、読み、書く、話す聞くの授業でした。

グループで話し合いや、ペアワークが多かった。ゲーム形式の授業も多かった。

レベルごとにクラスが分かれていた。

留学前にテストを受けレベル別にクラス分けをして授業が進められた。

きりのいいところで質問はないかなど聞いてくれた。クラスのレベルによって授業が進むスピードは違う。レベルが高くなるにつれ、進度も早くなると感じた。リスニングのクラスではグループワーク多めだったのでクラスメイトと助け合いながらできた。

とても自分に合っていて一人一人のペースに合わせてくれました。

授業の進め方は、どの授業も先生がプロジェクターの資料と教科書をもとに授業を進めていきます。必ず授業を進めていくうちに、質問ある人など聞いてくれるのでその都度確認することができます。その他にもホワイトボードがあるので、分かった人から書いたりとか発表をみんなの前でするなど積極的な授業が多かったです。全ての教科が必ず週1回テストがあり事前にこの日テストするからと報告を受けてテストを受けます。テストを受ける時は、プリント、スマホを使うものや、パソコン教室を使ってテストを受けました。

クラス人数、日本人と留学生比率、留学生の出身国などについて教えてください。

基本的に7割が日本人でした。他は韓国やサウジアラビア、チェコなどの国です

サウジアラビアやアフリカの方が多かった。クラス人数は真ん中のレベルが1番多く20人以上で下に行くほど人数が少なく少人数授業みたいになり、それはそれでいい。

日本人が比較的多かった。

留学生機構の建物には日本人が6割を~7割で多かった

レベルによって多少差があるが、1クラス10~20人くらい。6:4くらいの比率で日本人が多かった。主に中国、韓国、ブラジル、チリ、メキシコ、コンゴ、サウジアラビアからの留学生がいた。

半分ほど日本人でした。南米やアフリカ、サウジアラビアの人などがいました。

1学期のクラスの人数は7人で比較的少人数でした。日本人が5人とサウジアラビア人が2人でした。2学期になると、入学して来る人達も増えてクラスの人数も増えました。2学期は、日本人5人、サウジアラビア人2人、コロンビア人2人、チャド人1人、スペイン人1人の11人でした。私の行った大学は、日本人の割合が多かったです。関西外大から10人と関西大から20人の30人も日本人がいました。その他には、ブラジル、韓国、中国の出身の人がいました。

クラスの雰囲気はどんなものでしたか。

いつも明るく、日本語を使わない心がけをしっかりとっていました。

積極的に発言する人が多い。日本人以外はたくさん先生に質問をする人が多い。

少人数クラスで発言がしやすかった。

比較的少人数なので質問しやすい

人数も少ないし日本人だけではないのでリラックスして授業を受けれた。発言しやすい環境だった。

とても勉強がしやすかった。先生との距離感が日本よりも近い。

クラスの雰囲気はとても良かったです。発言や質問がしやすい環境になってました。日本の授業と違うところは、座学がメインじゃないことです。日本の授業では教授の講義を聞いてメモすることがほとんどだけど、アメリカでは人とコミュニケーションを取るために動いたり意見交換などをして人の意見も自分の中に入れます。その他にも、誰かが分からなくて困ってたらみんなが助けてあげたり、その人が間違えから正解に辿り着くと拍手してあげたりなどミスを恐れない環境にありました。なので、日本の大学と比べるとみんな積極的に協力的でした。

授業の中で取り上げられたトピックで印象に残っているものは何ですか。

聞くことだけでなく生徒主体のゲームやディスカッションがありました

色々な題材を扱ったストーリーを読むことが多かったが、特に印象に残っているのはゴビ砂漠についてのストーリーだった。

リーディングの授業で日本の文化に関する文章を読んだこと

英語の歌やダンス

授業の中で取り上げられたトピックで印象に残っているものは、リーディングのときに読んだパンダの本です。パンダは妊娠できるのが1年のうちの3日しかなくて、パンダのお母さんが双子の赤ちゃんパンダを出産しても1匹のパンダの世話しかしないため飼育員のお世話が必要だということです。なので、パンダのお母さんが赤ちゃんを産んで育てていくのは当たり前のようにみえて奇跡なんだと思いました。その他にも、人間がパンダの餌である草を刈るため生活しづらくなり、パンダの数が減っているとのこと。その本を読む前までは、パンダはぶくぶくしてて可愛いとしか思っていなかったけれど内容を知ると深刻ですごく印象に残ってます。

授業を受けるにあたって工夫していたこと、努力していたことはなんですか。

日頃使わないフレーズにも挑戦しました

授業で新しく習った単語など復習をしていた。わからなかったところは必ず先生に聞いたり教えてもらったりした。

積極的に口に出して英語を話すこと

授業に追いつけなくなることもあるので課題はちゃんとする。早めに出された課題は早めに終わらす。授業の中で分からない表現や単語があったらクラスメイトや先生にすぐ聞いていた。

家での自主勉強

授業を受けるにあたり努力していたことは、答えが分かったら間違えてたとしてもしっかり答えるということです。間違えてるとか正解してるとか考えず、答えていくことで授業にもしっかり参加できるし、分からない所があれば授業後やその場で質問しその日に解決することです。そうすることで、自分自身の理解が深まるし、英語力も伸びると思います。

2. 滞在先・自由時間の過ごし方について

ルームメイトはいましたか。	ルームメイトはどこの国の人でしたか。
0人 (3人)	-
1人 (5人)	日本人

通学手段	通学時間	主に食事はどこでとっていましたか。
電車 (3人)	0~15分 (1人)	ホームステイ先 (8人)
	30~45分 (1人)	
バス (5人)	45~60分 (1人)	
	75~90分 (2人)	
	90分以上 (3人)	

部屋に用意してあったものは何ですか。	自分で用意したものは何ですか。
ベッド、クローゼット、勉強机、冷蔵庫	生活用品
ベッド、タンス、ランプ。私の場合は机がなく、電気が暗かったのが辛かった。ほんとに寝るためだけの部屋。	服、化粧品、スキンケア用品、筆記用具、教科書
ベット・机・棚・ライト・キッチン・冷蔵庫・トイレ・シャワー・電子レンジ・パン	シャンプー・ボディソープ
ベット、棚のみ	ヘア 드라이ヤー、スリッパ、シャンプー、リンス
洗面用具を入れるバッグ(お風呂用に)。クローゼットの中に大量のハンガー。勉強机。たくさんの引き出しがあるドレッサー。ティッシュ。バスルームに生理用品(ナプキン、タンポンなど)。お菓子。ドライヤー。洗濯ものを入れるカゴ。家の中で履くスリッパ。雪用のブーツ、手袋、帽子。	コンタクト、ナプキン、化粧品、ドライヤー、洗濯ネット、歯ブラシ、洗顔、シャンプー、コンディショナー、洗剤(用意されていたので使わなかった)、家の中で履くスリッパ
ベット クローゼット	服 シャンプーなど
勉強机と椅子、ハンガー、洗濯バサミ、洗濯カゴ、タンス1つ、クローゼット、大きめのベッド、枕、シーツ、布団	洗濯洗剤、シャンプー、リンス、ボディソープ、歯磨き粉

ホームステイ生活をする上で、日本と違って戸惑ったこと、驚いたこと。

夕食が2日連続同じものが出ることが多い。また、作ってくれない時は自分で作らないといけない。
ルームメイトとの生活がしんどかった
家の中も土足で過ごす
洗濯機の横に同じ大きさの乾燥機があって、洗濯機で洗い終わった後乾燥機を回すこと。洗濯は週に1〜2回。家族の誕生日パーティーなどをよくする。
家族のようにホームステイ先で扱ってくれて困ったことはなかった
ホームステイで日本と違って戸惑ったこと、驚いたことは洗濯が週に1回で、食器を洗う時は食洗機を使わずに手洗いするなど節水にこだわっていました。特にシャワーの時間など制限は無かったけれど、冬の服でセーターが多い時の洗濯は洗濯機がパンパンになりとても戸惑いました。その他にも、ホームステイ先によって料理が異なることです。色々な民族の人が住んでるため、その家族の出身のご飯がどの家も多く驚きました。

ホームステイ生活を快適に過ごすためのアドバイスをお願いします。

必ずそこにあるルールに従い、1日の大体のプランを立てて過ごす
積極的に話す。
嫌なら変える。ルールを決めとく
少しでも不満があれば直接話しかホームステイ先を変える
共同で使うトイレや、お風呂はきれいに使う。家のルールは従う。家の中で何かわからないことがあったらすぐホストファミリーに聞く。作ってくれたご飯で食べれないものがあたら正直に食べれないという。おなかいっぱい時も正直に言う。
コミュニケーションを頻繁にとること。自分から話に行くこと
ホームステイを快適に過ごすためには、コミュニケーションが大切です。分からないことがあれば、聞かないことよりも絶対聞く方がいいです。間違えた英語でも相手は聞き取ろうとしてくれるし、自分が聞かずに我慢するよりも伝えた方がお互いが過ごしやすいし、自分の中

での当たり前は相手に違うため伝えるべきだと思います。ホームステイでは寮と違ってハウスールがあるので、しっかり守ることと、外出するときは、どこ行くかと何時ぐらいに帰るかなど伝えておいた方がいいと思います。

パソコンは持参 しましたか	携帯電話	インターネットは部屋から 接続可能でしたか。	その際に費用は かかりましたか。
はい (8人)	日本から SIM カードを持参(5人)	ワイヤレスで可能 (8人)	いいえ(5人)
	日本の携帯電話をそのまま持参(2人)		はい(3人)

大学主催のプログラム/イベント/ボランティア/サークルなど。	学内/学校近辺でよく利用した施設やお店など
友達と街へ出かけたり大学のパーティーに参加しました	学校の外国人の友達と話しました
毎週イベントがあり、参加したいイベントに出る感じ。夏休みまでは結構イベントに参加した。楽しかったイベントは、ポットラックでいろんな国の料理が食べることができたこと。参加する人は自分の国のご飯を作って持ってくる感じだった。他はランタンフェスティバル、カラーフェスティバルが印象に残って、本当に楽しかったし参加して良かったと感じた。	学校帰りに買い物行ったり、友達と課題をすることが多かった。また、休みの日は友達と出かけることの方が多かった。ランチメイン。
友達と色々なところへ遊びに行ったりしていた。	ボウリングやビリヤードができる大学の施設
週一で行われる大学主催のイベントにほぼ毎回参加した	ELI のカフェで課題など。ユニオン。サンセットコーヒー(チェスなどできる)。ティーバー(タピオカ)。じんや(ラーメン)。ダウンタウンのショッピング施設;シティークリーク
週末は学校の行事に参加していた。	学校の近くのスーパーマーケット
現地の友達とずっといた	McDonald でポテトの L サイズが1ドルで食べられたのでよく利用した。chick fil a と IN N OUT はとても美味しい、日本にはないので、外せない。
大学主催のイベントは月に 3~4 回あり、月に 2 回ぐらい参加していました。沢山のイベントがあり、規模が大きいイベントはスクールバスを使って、自分達でイベントのチケットを払って参加する仕組みでした。日本では体験できないようなランタン、カラーフェスティバルなど貴重な体験ができました。しかも、参加するかしないかは自由なので、自分の意思で参加できて良かったです。	学校が終わった後の自由時間は、学校に残ってその日の宿題をしていました。宿題が多い日には 2 時間半とかかかるので、学校にある自動販売機でお菓子を買って食べたりしました。その他には、学校のメインキャンパスでお土産を買ったり、ジムやボウリング、ビリヤードに行ったり、メインキャンパスのカフェテリアでご飯も食べました。

3. 留学前準備について

留学前に取り組んだ準備
英語の勉強
Youtube で英語の動画などをみていた
特になし
英語でコミュニケーションをとることに慣れておくために英会話教室に通った。TOEIC も受けた。
単語はたくさん学んだ
単語勉強

留学前にしておけばよかったと思う準備

もっと単語を覚えていたら良かった。

もう少し英語の speaking の練習をしとけばよかったと思う

留学先の施設や環境を調べる

単語をもっと勉強しておけばよかった。

リスニング能力

単語の発音練習、長文の英会話(受け答えなど)

日本から持って行って役に立ったもの、または喜ばれたもの

せんべい、日本柄の小物

味噌汁、サトウのご飯

抹茶系のお菓子

喜ばれたもの：子ども→ポケモンなど日本のアニメのもの、折り紙、日本のお菓子（コアラのマーチ、キットカット、たけのこの里、きのこの山）大人→九谷焼のお皿、柿の種 自分用の日本食。自分用にインスタントの味噌汁を持って行ったのが良かった。パーカーや羽織るもの。モバイルバッテリー。

歯磨き粉

喜ばれた物は、日本のせんべい、お菓子、扇子など日本のものは全て喜んでくれた。役に立ったものは、インスタントのお米と味噌汁とちょっとしたうどん、ふりかけです。現地のお米がパサパサで日本の米が恋しくなるし、ランチで持って行くものがない時に楽に持って行くことができたり、自分で休みの日にご飯用意するときなどに使えるため。

日本から持っていく必要のなかったもの

たくさんのお菓子の日本のお菓子、白米や、味噌汁。行く場所によるけれど、アジアのスーパーなどで高いけれど日本食品は売ってる。

ハンカチ

ボディソープ→日本と同じようなものが売っているので現地で調達できる。

日本から持参すればよかったと思ったもの

もう少し服を持っていけばよかったこと。かわいい服屋さんは沢山あるけれど、やはりどこも高い。しかし古着屋さんはまだ安くで手に入ったから古着屋さんで買うことが多かった。

乾麺

ドライヤー

変圧器。日本とアメリカのプラグの形は同じだが、電圧は違うので日本から持ってきたヘアアイロンやドライヤーがそのまま使えないかもしれないので変圧器を持っていくことをお勧めします。パソコンやスマホの充電器はそのまま使えることが多い。

下着をたくさん持っていけばよかった

スキンケア類、シャンプー、リンス、普段からあまり使わない薬(口内炎など) アメリカではどこを探しても化粧水がないため日本から全て持っていく方がおすすめである。シャンプーやリンスは髪がパサパサになってしまうから気になるなら過ごすだけの分必要である。食べ物ガラッと変化するため口内炎の薬はいると思う。

4. 留学費用について

お金をどのように準備しましたか。	日本円でいくぐらい準備しましたか。
現金は3万円。基本クレジットの支払いでした	クレジットカード上限20万、現金10万
クレジットカード、デビットカード、現金。旅行に行くならばクレジットカードは必須。現金は友達と食べに出かける時に便利。	キャッシュカードに30万、現金で10万
ほとんどはカード支払いで、現金を使うタイミングが少なかった	クレカ50万、現金20万
クレジット、現金	日本円で15万円分用意したが、現金よりクレジットカードを使う機会が圧倒的に多かったため15万円分も足りないかもしれない。クレジットカードの上限20万円。
現金は旅行会社でドルに換えた。クレジットカードはもともと自分名義で作ってあったのでそれを持って行った。	現金15万ほど
デビットカード	現金10万円、プリペイドカード15万円、クレジットカード上限20万円、デビットカード上限なし。
現金、プリペイドカード、デビットカード、クレジットカード	

現地で支払った住居費と食費を教えてください。	テキスト代と通学費はそれぞれいくぐらいかかりましたか。
30万円	3-6万
食費は多い月で8万いていた	30,000円ほど
月10万円ほど	テキスト代で約2万円。通学費無料
現地で住居費は払っていない。毎日の昼食だけ自分で用意しなければならなかった。学校でのランチも。サラダやおにぎり、サンドイッチを作って持って行った。	通学費は学生証のおかげで一切かからなかった。テキストはAmazonで頼むと高いから、学校にある古本で買うことが多かった。または、もらう。テキスト代はアマゾンで安く買って2万くらいだったバスや電車は学生証さえあればFREEだった
30万ほど	セッションごとにテキストも変わるので買わなければいけない。新品の教科書は高い。2セッション合わせて230ドルくらいかかった。UカードがあればバスやTRAXが無料で乗れるので通学費はかかっていない。
住居費は事前に支払い済みで食費は友達との遊びなどで月3万程度。	テキストは3万5,000円、通学費は大学のカードがあれば無料で乗ることができる。

その他旅行や買い物など個人的費用は何にいくぐらいかかりましたか。
50万円
50万ぐらいかな？
30万は使ったと思う
10万円ほど、
カルフォルニアの(旅行)飛行機代：往復200ドル、Disney：約100ドル、ユニバーサルスタジオ：約100ドル、食費：約100ドル、ホテル：4泊5日180ドル 服、靴、アクセサリー：約500ドル、外食費：わからない、行事費：70ドル
2万ほど
アメリカ留学全て含めて50万円

5. 学習面について

語学力・コミュニケーション能力の自己分析
70パーセント達成
簡単な文でコミュニケーションはとれるようになった。
reading 以外の3技能は比較的伸びた。
リスニングとスピーキング力が上がったと思う
日常会話はできるようになったと思う。コミュニケーション力はアメリカから帰ってきて上がったと思う。
語学力もコミュニケーション能力もとても向上した
私は語学力・コミュニケーション能力は留学に行く前より伸びたと思います。留学前は、英語が聞き取れて意味もわかるけど、答えるときに文法などを意識するあまりちゃんと答えられないときが沢山ありました。今は特にそんなことがなく、文法を完璧に意識しなくなり聞かれたことにはちゃんと答えられるし、自分の言いたいこと、伝えたいことが言えるようになりました。その他にも前までは、分からないことがあったら、相槌だけで終わらしていたけれど、それどういう意味と聞くとみんなが英語で説明してくれるので理解が深まりました。

留学前の目標とその達成度
60%達成
文化を学んで英語で言いたいことをサラサラと声に出せるようにすることが目標だったが、難しいなと思った。
目標は特に決めていなかった。
日常レベルを難なく話せるようになりたいと思っていて、帰国前にはそれが達成できていたと思う
少しでも自信をつけて帰りたいと思った、それは達成できた。人見知りや直したいと思っていたのは少しでも直ったと思う。
もう少し語学力レベルをあげたかった
留学前の目標は、現地の友達を作る、大学のイベントに参加する、英語の理解を深める、文化体験をすることでした。達成度は75%です。まず、現地の友達は少ないけど作ることはできたし、イベントにもできるだけ参加しました。他にも英語の理解を深めることは出来たけれど、まだまだ完璧ではなく、もう少し努力できる部分があったと感じます。例えば、もっと自分から積極的に話しかけに行くことや同世代が集まるイベントに参加することができたところがありました。けれど、文化体験ではホストファミリーがアメリカ人のパーティー、フィリピンのパーティーに連れて行ってきて体験することができました。

留学を通しての成長ポイント
勇気、自信がつき、人助けや声掛けを素早くできるようになった
自分で解決する力
ストレス耐性・
リスニングとスピーキング
自分に自信が持てるようになった。英語を話すことにも自信がついた。また、ポジティブ思考になるようになった。ネガティブに考える人は少なくネガティブは良くないと気づけた。助けてもらわないとできないこともあるが、自分で治す、解決する力も付いた。他人の目をあまり気にしなくていいことにも気づけた。
コミュニケーション能力
留学を通して成長したところや、自分自身が変化したと感じる部分が2つあります。まず、1つ目はミスは恐れなくなったところです。日本にいたときは、これは間違えているかもしれないから言わないでおこうと思うことがあったけれど、今は間違えているとか考えなくなり私はこう思うなど意見を言えるようになったところです。2つ目は、過剰な考えすぎがなくなりました。昔の私は、相手にこう伝えるとどの様に

感じるかを裏の裏まで考えていて、それに疲れていました。アメリカで会う人達にそこまで考えなくていいし、堂々と言いなと言われてから楽に行動できる様になり、さらには前に比べて前向きに自信を持って行動できる様になりました。

留学前/留学中/留学後の語学学習に対するモチベーションの変化

留学を経験して得た語学力以外にも、これからのゴールや目標が見つかった

ホストファミリーとかと話したりした時に全然伝わらないなと感じた時にもっと勉強しないとモチベーションが上がった。

英語がさらに好きになった

留学中と留学後は英語に対するモチベーションが高かった

行く前は勉強についていけるか、ホストファミリーはどのような方々なのか、上手くコミュニケーションが取れるかなど不安はたくさんあった。ルームメイトや日本人の友達や他の国の友達のおかげで勉強も頑張れたし、遊びに行ったり、楽しいこともたくさんあったので不安は消えた。英語でコミュニケーションが取れたときは嬉しかった。帰ってきた後は TOIEC の勉強を始め、解けるようになっていたので留学の成果だと感じた。

とても上がった

語学学習のモチベーションの変化では、留学前は単語などの勉強しても頭に入っているのか不安であまり勉強していませんでした。留学中は、英語に触れる機会が増え、宿題、授業、会話も英語なのでそれらを有効活用して勉強していました。さらに、人と会話をしながら勉強しました。英語だけの生活なので、モチベーションは1番高かったです。留学後は、少しモチベーションは落ちてしまいましたが、仲良くなったアメリカ人と電話で会話したり TOEIC などに向けて勉強したりと英語を勉強を継続させています。

留学中 100%力を振り絞った瞬間

テスト勉強

テストに向けての対策と勉強

期末テスト前の勉強。

ホームレスに殴られた時

留学中 100%力を振り絞った瞬間は、友達とカルフォルニア旅行に行った時のホテルです。予約まで取れていて、チェックインと個人情報を確認をしたのにも関わらず、相手のミスで勝手にチェックアウトされていたときです。もう夜中でコンビニから帰ってきたら、部屋がありませんでした。その時に、ここでへこたれていたら駄目だと思いホテルのスタッフにしっかり何で問題が起きたのかと、替えの部屋は用意できるのか聞きました。もし部屋がなければ、夜中に外に追い出されるしと思い強い勇気を持ってしっかり話しました。問題は解決され頑張った瞬間でした。

留学先大学の良かった点

バスや電車が無料だったこと。イベントが毎週あったこと。

大学のテーマカラーが赤だったこと、downtown への交通の便がよかったこと。イベントが色々あったところ。

比較的アクセスしやすい

行事がたくさんあったので良かった。

場所が行きにくい

留学先の良かった点は、自然がとても豊かだったことです。ユタは山が沢山あったりグレートソルト湖がありました。私的に良かったと思う体験は、雪と野生の動物に会えたことです。今まで生きてきて積もる雪を体験したことがなかった私は、今回雪の中学校の行くことの大変さを感じたり雪と遊ぶことができました。その他にも、野生のリスとウサギに会えてびっくりしたけど田舎さを感じることができました。